

授業科目名	こども音楽療育概論	教員名	後藤 祐子 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	
					小学校教諭	
科目番号	KOD201	配当年次	2年前期		幼稚園教諭	
授業形態	講義				保育士	
単位数	2単位				こども音楽療育士	必修
科目					情報処理士	
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	こども音楽療育に必要な知識を習得し、こどもの発達や障害の特性に合わせた音楽療育の実践的技法のねらいを理解することができる。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のあるこどもの音楽療育の基本的理念を説明することができる。</li> <li>・音楽療育時に見られる対象児の姿を発達の視点で理解し、援助することができる。</li> </ul>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	<p>音楽を活用したこどもの発達支援の基礎理論と実践的視点を学ぶ。乳幼児期における心身の発達と音楽の関係を理解するとともに、音やリズム、歌唱、身体表現などを通じた療育的アプローチについて体験を通して考える。</p> <p>また、発達の多様性を踏まえ、個々のこどもの状態や特性に応じた支援のあり方を学び、保育・教育現場において音楽をどのように活用できるかを具体的に検討する。</p> <p>本授業を通して、こどもの育ちを支える音楽の可能性を多面的に理解し、実践へとつなげる基礎的資質・能力の習得を目指す。</p>					
履修条件・注意事項	本授業は、全国大学実務教育協会認定「こども音楽療育士」資格に対応した科目である。本科目履修後に「こども音楽療育演習」を履修することが望ましい。					
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション：授業目標及び本授業の到達目標を確認する。(事前・事後学習) シラバスを読み、授業の流れを理解する。</p> <p>第2回：心身の発達と音楽的発達①：0・1歳児の心身の発達と音楽的発達、遊びとの関係について学ぶ。(事前・事後学習) 0・1歳児の心身発達と音や音楽との関わりについてまとめる。</p> <p>第3回：心身の発達と音楽的発達②：2・3歳児の心身の発達と音楽的発達、遊びとの関係について学ぶ。(事前・事後学習) 2・3歳児の心身発達と音や音楽との関わりについてまとめる。</p> <p>第4回：心身の発達と音楽的発達③：4・5歳児の心身の発達と音楽的発達、遊びとの関係について学ぶ。(事前・事後学習) 4・5歳児の心身発達と音や音楽との関わりについてまとめる。</p> <p>第5回：音楽療育の基礎知識①：音や音楽の中に見える子どもの発達や観察の視点について学ぶ。(事前・事後学習) 音や音楽に見えるものについてまとめる。</p> <p>第6回：音楽療育の基礎知識②：音や音楽の多感覚性とその可能性について学ぶ。(事前・事後学習) 音や音楽の可能性についてまとめる。</p> <p>第7回：音楽療育の主な概念①：同質と即興演奏について学ぶ。(事前・事後学習) 同質と即興演奏についてまとめる。</p> <p>第8回：音楽療育の主な概念②：音と身体の動き、リラクゼーションについて学ぶ。(事前・事後学習) 音と動き、リラクゼーションについてまとめる。</p> <p>第9回：音楽療育の主な概念③：自己実現のための音楽/コミュニケーションについて学ぶ。(事前・事後学習) 自己実現のための音楽/コミュニケーションについてまとめる。</p> <p>第10回：音楽療育の主な概念④：言葉と音・音楽/認知の学習と音・音楽について学ぶ。(事前・事後学習) 言葉と音・音楽/認知の学習と音・音楽についてまとめる。</p> <p>第11回：音楽療育の実践①：発達障がい児に対する音楽療育の意義と具体的援助方法について学ぶ。(事前・事後学習) 発達障がい児の音楽療育についてまとめる。</p> <p>第12回：音楽療育の実践②：知的障害児に対する音楽療育の意義と具体的援助方法について学ぶ。(事前・事後学習) 知的障害児の音楽療育についてまとめる。</p> <p>第13回：音楽療育の実践③：視覚・聴覚障がい児に対する音楽療育の意義と具体的援助方法について学ぶ。(事前・事後学習) 視覚障がい、聴覚障害児の音楽療育についてまとめる。</p> <p>第14回：まとめ①：障がいのある子どもたちへの音楽療育の意義を考える。(事前・事後学習) 音楽療育の意義についてまとめる。</p> <p>第15回：まとめ②：障がいのある子どもたちへの音楽療育の意義について振り返り、まとめる。</p>					

授業外学修時間の確保について	授業外学修は、事前・事後学習として週4時間以上行うこと。 指示された授業外学習の他に、予習・復習に1時間をあて、授業準備をすること。 授業計画に記載のとおり。
学生に対する評価	レポート提出 50%、小テスト 30%、意欲・態度 20% なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。
テキスト	『音と人をつなぐ コ・ミュージックセラピー』中島恵子・山下恵子著 春秋社 『はらっぱde楽譜集』中島恵子 こども音楽センター
参考書・参考資料等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(フレーベル館)
担当者からのメッセージ	講義に際しては、対象者理解を深め、理論と実践のつながりを深めるためにグループワークや体験を通した学びを重視して行う。体験をフィードバックを繰り返し互いに語り合うことを大切にしたい。
オフィスアワー	火曜日 16:20~17:00 その他、必要に応じて個別に対応する。
備考	・保育・教育の現場で実践してきた音楽遊びを通した子ども理解や発達支援について、具体的な事例を通して教授する。